

亀と黒犬

かめ と くろいぬ



作:近藤せいけん

昔むかし 相模の国に厚木村という村落がありました。

村の近くを大河、相模川が流れていました。

そこに大きな中州があり、亀、たぬき、きつねが住んでいました。

ある日のことです。

大きな魚が中州にうちあげられていました。最初に亀どんがを見つけました。

「わあ、何と大きな魚だろう」

「ごちそうだ！食べでがありそうだ」

そこへ、突然大きな黒犬があらわれ、魚を奪おうとしました。

「ああ、大変だ！亀どんが最初に見つけた獲物を黒犬が奪おうとしている」

「亀どんを助けなくちゃ！」

たぬきどん、きつねどんが亀どんに力を貸して大きな魚のしっぽをかみ、思い切り引っ張りましました。黒犬は頭の部分をかみ思い切り引っ張っています。どっちも一歩も引きません。

時間がたっても、「ウ～ウ～ウ～ウ」どちらもうなり声をあげ、勝負がつきません。

大きなワシが上空から、その様子をながめていました。すると、スウーと降りてきて、中州の一本の木に

とまりました。

「お～いお前たち！いつまでそうしているのか？」 「やがて、お日様もおちやうぞ～」

「どうだ、ここは、ワシにまかせぬか」

黒犬も亀どん、きつねどん、たぬきどんもすでに疲れ果てていて、もう力も出なくなっていました。

そうほうともほぼ、同時に魚をはなし、その場にへたりこんでしまいました。

「さて、何か競争をして勝ったほうが魚をいただく」

「どうだ、これがよかろう、どうだ！」

黒犬 「かけくらべをしよう。中州のはじまでいってここまで帰ってくる、小さな亀さん、早く帰ったほうが勝ち。どうだ！」

少し考えてから、亀どんが答えた。

「よかろう、ただし、二回勝負にしよう」

黒犬「二回勝負だと？なんだ、それは？」

亀「二回目はこの相模川をわたって帰ってくる。どうだい、大きな黒犬どん」

「いいだろう、おれ様は「犬かき」というとくいな泳ぎを持っている。みんなに見せてやる、ワハハハ」

おれ様がもらった。ワハハハ、ユカイ、ユカイ！」

ワシ「ようしきまった。それでは一回目はじめよう。たぬきどん、勝負始めの線上に立って、きつねどん中州のはずれに立って。わしがギヤァ！と一声かけたら勝負始めだ、いいな」

「それでは始めるぞ」

「ギヤァ！」

黒犬どんが勢いよくかける、かめどんはゆっくりゆっくり、のそり、のそり進む。黒犬どんは早くも中州のはずれに到着。折り返してきて、かめどんを笑う。

「どうだ、おれさま、もう折り返ししてきた。アハハハ。もう一回、いってこよう、へへへ！」

黒犬どんはきつねどんのいる中州のはずれをめざす。

そしてきつねどんにわざとぶつかって、たおす。

「悪い。悪い。勢いがつきすぎてね、アハハハ。じゃな～」

かめどんはまだ中州のはずれまで半分しかいっていない。「もう遊ぶのを止めて、勝負をつけよう」

たぬきどんのいる勝負線をこえた。

ワシ「勝負あった。黒犬どんの勝ち！」

かめどんはまだきつねどんがいる中州のはずれまでとどいていなかった。

きつね「かめどん、かめどん、勝負あった！そこに止まって、もどきなよお〜」

亀「ああ〜 負けてしまったか。しかたない。」

きつね「私の背中におのり。まだ、二回目があるから、がんばって。」

亀「ああ〜つかれた。それじゃお言葉に甘えて、背に乗せてもらおうか」

かめどんは始めの勝負線にもどった。

ワシ「それでは二回目を始める。用意はよいか。それでは」

「ギヤァ！」

二回目は大河、相模川をわたってもどってくる勝負である。かめどん、黒犬どん「ドボン！ドボン！」と飛びこんだ。得意の犬かきで、スイスイとすすむ。かめどんは水中にもぐり、強い流れをさけながらすすむ。相模川の本流に黒犬どんがかかった。

たぬきどん「あれれ、黒犬どんがながされていくよ！」

きつねどん「大変だ、黒犬どんがおぼれそうになっている！」

黒犬どん「助けてくれ！」

ワシがあわてて飛びたった。

「今助けに行くから、あばれるな！」

かめどんもおぼれそうな、黒犬どんにきがつき、もぐりながら黒犬どんに近づく。

黒犬どんの下へ入って、身体を浮かせる。

ワシどんが黒犬どんの首をつかみ、岸へひっぱりあげる。

たぬきどん「がんばれ！黒犬どん」

きつねどん「もう少しだ、がんばれ！」

やっと浅瀬に黒犬どんを引きよせた。

黒犬どんは岸にあがった。

「ゼイゼイ…アア、助かった。みんなありがとう」

かめどん「よかった、よかった。水の中の勝負なんかさせて、ごめんね」

黒犬どん「おれが悪かった、ごめんね」

ワシ「それじゃ、この魚をみんなで分けよう」

かめどん「それがいい、それがいい」

「奪いあえばたりない、分けあえば十分足りる」

相模の国 相模川でのおはなしでした。

(終わり)